

問1 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問2 川の下流にある石が、上流にある石に比べて小さくて丸い形をしているのはなぜですか。

問3 土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことによって、長い年月をかけてできる深い谷のことを何といいますか。

問4 川の様子を調べたところ、「角ばっていて大きな石」がたくさん見つかりました。これは川のどのあたりで見られる石ですか。

問5 川が曲がって流れているところで、水の流れが遅いために、砂や小石がたまりやすくなっているのはどこですか。

問6 流れる水が、土地の底や壁をけずりとるはたらきのことを何といいますか。

問7 流れる水が、地面をけずるはたらきのことを何といいますか。

問8 平地で見られる川原の石の形には、どのような特徴がありますか。

問9 海に注ぐ前の川の下部分で、土地の傾きがとてもゆるやかで水の流れがおそく、小石や砂が積もって広い川原がえられる場所を何といいますか。

問10 流れる水による「たい積」のはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問11 流れが速く、土地を強くけずり、まわりに角ばった大きな石がたくさん見られるのは、どのような場所にある川の特徴ですか。

問12 流れる水の量を減らしたとき、水の流れる速さと、けずられて運ばれる土の量はどちらになりますか。

問13 台風や大雨がふって川の水の量が急に多くなったとき、川の水の流れる速さはどうなりますか。

問14 川の下流で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問15 遊水地は、どのようなときにどのような役割をする場所ですか。

問16 川の曲がっているところの外側で、川の底が深くなっているのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問2	答え 流される途中でお互いにぶつかり合って角が取れるから。	石が流されるとき、お互いにぶつかり合うことで角が削られて丸くなっていきます。
問3	答え V字谷	土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことのできる深い谷をV字谷といいます。
問4	答え 上流	角ばっていて大きな石が多いのは、川の上流で見られる石の特徴です。
問5	答え 曲がって流れる川の内側	川が曲がって流れているところの内側、水の流れが遅くなるため、運ばれてきた砂や小石がたまりやすい特徴があります。
問6	答え 流れる水のはたらき（けずる）	流れる水が土地の底や壁を削り取る作用のことを「けずるはたらき」といいます。
問7	答え しん食	流れる水が地面をけずるはたらきを「しん食」といいます。
問8	答え 角が取れて、丸みがある。	平地で見られる川原の石は、山の中から流される間に角が取れて、丸みのある石になります。
問9	答え 下流	海に注ぐ前の川の下の部分で、流れがおそく小石や砂が積もる場所を「下流」といいます。
問10	答え 水が流れる速さがおそい場所	たい積のはたらきは、水が流れる速さがおそいところで大きくなります。
問11	答え 山の中の川	山の中の川は、流れが速く、土地をけずるはたらきが強いため、角ばった大きな石が見られます。
問12	答え 水の流れる速さが遅くなり、けずられて運ばれる土の量が少なくなる。	流れる水の量を減らすと、水をふやしたときとは反対に、流れる速さが遅くなって土をけずったり運んだりする力が弱まります。
問13	答え 速くなる	台風や大雨などで川の水の量が急になると、水の流れる速さは速くなります。
問14	答え 丸くて小さな石が多い	川の下流で見られる石は、丸くて小さな石が多いのが特徴です。
問15	答え 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。	遊水地は、川の水が増えたときに、人が住む場所へ水があふれないように一時的に水をたくわえるために作られます。
問16	答え 水の流れが速く、地面をけずるはたらき（しん食）が大きいから	川の外側は水の流れが速いため、地面をけずる「しん食」のはたらきが大きくなり、川の底が深くけずられます。